

はまだ

社協だより



ふれあいネットワーク

9月

第196号

令和4年9月1日発行

⑮だんの くらしが しあわせに



6月14日(火)、浜田ライオンズクラブ(福本貴大 会長)及び浜田亀山ライオンズクラブ(津森一正 会長)と本会(中島良二 会長)との間で、「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を締結しました。調印式には、各団体の会長が協定書の署名・捺印した上で、立会人として久保田章市 浜田市長に署名をいただき協定書を取り交わしました。

災害ボランティアセンター設置の目的は被災された方が1日でも早く日常を取り戻せるよう、ボランティアの力を届ける事でもあり、この協定により万が一の災害時にはボランティア活動に必要な支援物資の調達が、これまで以上に円滑に行なわれる事になります。

こうした取り組みも含め、住民主体の地域福祉の活性化につながるよう取り組みを進めてまいります。

発行：社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

■本所・浜田支所 〒697-0016浜田市野原町859-1

Tel:(0855)22-0094 Fax:(0855)22-6930

E-mail: hamada-shakyo1@hamada-shakyo.com

ホームページ: <http://www.hamada-shakyo.com>

■金城支所

Tel:(0855)42-2300 Fax:(0855)42-2303

■旭支所

Tel:(0855)45-0188 Fax:(0855)45-0258

■弥栄支所

Tel:(0855)48-2313 Fax:(0855)48-2416

■三隅支所

Tel:(0855)32-0401 Fax:(0855)32-2121





浜田市社会福祉協議会 助成事業2次募集のお知らせ



浜田市社会福祉協議会では、共同募金の助成金により、市内で地域住民の福祉向上のために活躍されている各種団体の活動支援として、令和4年度事業の2次募集を行います。

*助成事業の種類

①高齢者サロン立ち上げ支援事業(高齢者サロン新規開設 初年度のみ3万円以内)

浜田市において、住民自らが企画し、立ち上げようとする新規高齢者サロンに対して助成を行います。

(事業実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

②歳末たすけあい助成事業(募金実績の範囲内において 1団体3万円以内)

浜田市において、誰もが安心して年末年始を過ごせるよう、住民同士がつながり・支え合いの地域づくりを実現することを目的とした事業に対して助成を行います。

(事業実施期間：令和4年12月1日～令和5年1月31日)

*募集期間：令和4年8月1日(月)～令和4年10月21日(金)

具体的な内容は浜田市社協のホームページをご覧ください。下記までお気軽にお問合せください。申請様式は、本会ホームページ(<http://www.hamada-shakyo.com>)よりダウンロードいただけます。申込み・問合せ：浜田市社会福祉協議会 地域福祉課(TEL:22-0094)



赤い羽根共同募金運動が始まります！！

浜田市共同募金委員会 会長 室崎 富恵



今年度も10月1日から全国一斉に『赤い羽根共同募金運動』が始まります。

浜田市で集められた募金の約7割は、“**浜田のまちを良くするため**”の地域福祉活動や子育て支援、高齢者支援や障がい者支援活動、未来を担う小中学生の福祉教育活動などに活用されています。残りの約3割は、島根県全域の福祉活動や災害時の支援活動に役立てられています。

共同募金は、地域ごとの使いみちや集める額を事前に定めて、募金運動を展開する計画募金です。今年度の浜田市共同募金委員会の目標額を下記のとおり定めております。

“**じぶんの町を良くするしくみ**”である赤い羽根共同募金に皆さまの温かいご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年度浜田市募金目標額

赤い羽根共同募金
13,010,000円
歳末たすけあい募金
4,962,000円

ありがとうメッセージ

コロナ禍で色々な活動が制限される中、バナナポートやカヌー体験等、子ども達にとって貴重な体験活動となりました。

ご支援いただきありがとうございました。

みすみスポーツクラブ

ありがとうメッセージ

助成金のおかげで浜田弁ラジオ体操を地域に広げることができました。

皆さんから『意欲がわく』と、喜んでもらえました。ありがとうございました。

浜田弁ラジオ体操やってみよー会



← 社協のホームページはこちらをチェック！



災害ボランティア研修会

7月7日(木)、浜田市総合福祉センターにて災害ボランティア研修会を行いました。

研修会では、周布地区社協の村井会長と岩永事務局長から周布地区合同防災訓練の取り組みについて発表いただきました。発表の中では、前年の反省を活かし各団体で連携をとる事やコロナ禍での対策等についてもお話いただきました。参加者からは「どのように全員をまとめているのか」「避難所へ入る人数はどれくらいか」と質問もあり、自然災害が多くなるこれからの季節に備え、興味深く話を聞いていました。

後半は、浜田市消防本部の方から、家庭での身近なものからの火災原因や梅雨が短い年は草が乾燥しているため火が広がりやすい事についてお話いただきました。講義の後は煙体験を行い、体験した参加者からは「これじゃ、全然前が見えない」という感想や、安全な煙であってもせき込んでおられる参加者もおられました。実際の火災時の恐怖を肌で感じられたと思います。今回の参加者には、浜田市からの簡単な防災グッズも配られました。地域に帰って近所の方と、もしもの話をするなどして災害への意識が市民の皆さんに広がればと思います。



あいサポート研修

7月13日(水)、浜田市立浜田東中学校2年生48名を対象に、あいサポート研修と体験

学習を行いました。

あいサポート運動では障がいについて、今と昔の考え方の違いや、誰もが暮らしやすい社会を目指して、ユニバーサルデザインについて学びました。

後半は車いす体験及びブラインドウォークを、介助者だけでなく、当事者の側に立った体験もしました。

この経験をきっかけに地域で困っている人や高齢者を見かけたら、声掛けのできる浜田東中学生になってほしいと思います。



【あいサポートの様子】



【車いす体験の様子】

法人ネットワーク 連絡会

7月20日(水)、浜田市総合福祉センターにて開催しました。

社会福祉法の改正により、社会福祉法人として地域における公益的な取り組みが求められています。浜田市においても令和元年度に社会福祉法人ネットワーク連絡会を立ち上げ、連携を深めながら地域貢献について検討しています。

今回は、身近な相談窓口を各法人に設置し、連携しながら早期支援・解決につなげている取り組みについて、雲南市社協より実践報告いただきました。

後半では、高齢介護・児童保育・障がいの分野に分かれ、相談事例をもとに演習を行いながら、専門職同士で交流を深めることができました。



社協のホームページはこちらをチェック！



浜田市障がい者 スポーツ大会

スポーツをとおして、障がい者の交流と、社会参加を目的としてボッチャ大会を行います。初めての方でも大歓迎です！お気軽にご参加ください。

ボッチャ競技

◎日 時 11月5日(土) 9:30 ~ 12:00
受付 9:00 ~ 9:20

- ◎会 場 サンマリン浜田
- ◎対 象 市内在住の在学者でない18歳以上の身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者(発達障がい及び高次脳機能障がいを含む)
- ◎募集期間 10月11日(火) ~ 10月25日(火)
- ◎申込み 浜田市障がい者スポーツ大会実行委員会
事務局：田邨(たむら)・迫本 TEL：22-0094 FAX：22-6930



ボランティア養成講座

あいさポーター養成講座



この講座では、多様な障がいの特性について理解し、障がいのある方へ必要な手助けや配慮ができる「あいさポーター」の養成を目的としています。

お気軽にご参加ください。



認知症サポーター養成講座



この講座では、認知症に対する正しい知識と理解を身につけ、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成します。みなさんの参加をお待ちしております。

この講座では、認知症に対する正しい知識と理解を身につけ、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成します。みなさんの参加をお待ちしております。



- ◎日 時 9月13日(火) 13:30~15:30
- ◎会 場 浜田市総合福祉センター 2階会議室
- ◎申込み 地域福祉課地域福祉係
担当：田邨・中川

- ◎日 時 10月13日(木) 13:30~15:00
- ◎会 場 浜田市総合福祉センター 2階会議室
- ◎申込み 地域福祉課地域福祉係
担当：田邨・中川

城山大学

- ◎期 日 9月27日(火) 「落語」 講師：夏風亭志ん悟
- 10月25日(火) 「人権・同和教育研修会」
部落差別の歴史 明治~戦前まで
講師：浜田市人権同和教育啓発センター職員
- ◎時 間 10:00~11:30
- ◎会 場 浜田市総合福祉センター
- ◎申込み 地域福祉課地域福祉係
担当：寺井

自死遺族わかちあいのつどい

- 日 時 9月17日(土) 14:00~16:30
- 会 場 浜田市総合福祉センター
- 問合せ しまね分かち合いの会・虹事務局 090-4692-5960

家族の思いに、共に寄り添い、気持ちを語り合える場として定期的に開催しています。自死遺族だけで運営していますのでご遠慮なくお越しください。



社協のホームページはこちらをチェック！





第1回くらしの保健室

6月29日(水)、人生100年時代を見据え、健康寿命の延伸を図るため、身近な場所で気軽に健康相談や健康教室を行う、まちかどの保健室が今注目されています。この流れを受け、社協のコーディネートにより、石見まちづくりセンター主催で、「くらしの保健室」が開催されました。



リハビリテーションカレッジ島根の青木耕先生による講話(嚥下・咀嚼機能を維持するお話)、浜田市役所の保健師による健康チェック、社協による脳トレ体操の体験と、暮らしの情報提供コーナーを設け、41名の方にご利用いただきました。移動手段が確保できない方には、福祉バスをご利用いただきました。参加者の中には、「初めてまちづくりセンターに足を運んだ」「今のからだの状態を知ることができて良かった」と、大盛況でした。次回は10月と2月に開催予定・予約は石見まちづくりセンターで受け付けています。(65歳以上の方が対象)

10月は里親月間です

里親になりませんか



子どもたちに家庭のぬくもりを

里親の家庭で愛情に包まれて家族の一員として暮らすことにより、子どもたちは一人の人間として大切にされ、愛されているという感覚を持ちながら育つことができます。

子どもたちのために、あなたにもできることがあります

里親には、『養育里親』と『養子縁組里親』があります。子どもが好きであり、愛情と熱意を持って、真心を込めて養育してくださる方を求めています。

◇里親に関心がある方はお問い合わせください。
浜田児童相談所 TEL: 22-3560

身障協 浜田支部へ寄附

日本さつき盆栽協会島根石洲支部 代表(故)掛本忠良様より、浜田市身体障害者福祉協会浜田支部へご寄附をいただきました。

身体障害者の福祉増進事業の財源として活用させていただきます。協会会員一同厚くお礼申し上げます。

善意のお礼

6月1日 ~ 7月31日

善意のご寄附に対し、心よりお礼申し上げます。(順不同・敬称略)

◇ 香典返し

- | | |
|--------------|-------------|
| 周布町 小竹 清治 | 元浜町 福田 哲子 |
| 黒川町 吉田 浩 | 生湯町 引地 結 |
| 殿町 小澤 弘之 | 竹迫町 小川 里香 |
| 長浜町 尾崎 信子 | 熱田町 佐々木 忠士 |
| 治和町 高原 兼司 | 京町 大島 久美子 |
| 栄町 猪口 裕史 | 長沢町 河野 和清 |
| 日脚町 野木 学 | 金城町 細川 春雄 |
| 相生町 植田 伊都代 | 金城町 土床 幸江 |
| 黒川町 中谷 秀晴 | 金城町 田中 誠司 |
| 周布町 (故)山崎 秀信 | 金城町 幸田 聡 |
| 長浜町 三浦 文子 | 金城町 河田 好孝 |
| 長沢町 吉永 文洋 | 旭町 高田 清 |
| 相生町 西谷 郁子 | 旭町 岡村 宏 |
| 長浜町 河野 勝彰 | 旭町 岩本 文夫 |
| 久代町 市子原 洋子 | 旭町 高橋 春美 |
| 笠柄町 水津 由美子 | 旭町 市川 悦子 |
| 相生町 高田 昌子 | 旭町 (故)安床 俊雄 |
| | 旭町 大賀 久史 |

- | |
|-----------|
| 弥栄町 三浦 寛章 |
| 三隅町 田中 正文 |
| 三隅町 幸田 克美 |
| 三隅町 石田 義生 |
| 三隅町 野上 勝義 |
| 三隅町 寺戸 重人 |
| 三隅町 岩本 節子 |

◇ 見舞返し

- | |
|-----------|
| 旭町 湯井 千ヨ子 |
| 弥栄町 王子 幸子 |

◇ 一般寄附

- | |
|-------------------|
| 金城町 小国ぬりえ教室 |
| 弥栄町 弥栄町グラウンドゴルフ協会 |

【お詫び】

周布町 小竹 清治様より、善意のご寄附を4月に受け付けておりましたが、手違いがあり、本誌への掲載が9月号になりましたこと、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

弥栄町 浜田市食生活改善推進協議会 弥栄支部

三隅町 殿河内春日クラブ

◇ 指定寄附

<杉の森デイへ>
益田市 南海 千恵一

◇ 福祉バス購入寄附

長沢町 浜田市ペタンク・プール連盟 シルバー部

長沢町 久代旅行の友の会
金城町 浜田市食生活改善推進協議会

◇ 地区社協へ

<長浜地区>
長浜町 橋本 勝弘



社協のホームページはこちらをチェック!



家族介護者の集い開催しました

7月5日（火）、浜田市総合福祉センターにおいて浜田地域の在宅介護者の方を対象に開催しました。出雲市の小規模多機能型居宅介護セカンド・サロンえるだー管理者 黒松慶樹 氏を講師に迎え、バーチャルリアリティ（VR）の技術を活用し、認知症の症状を目の前で自分に起きていることのように体験していただきました。

参加された皆さんは、360度見渡せるVRとヘッドホンにより、目と耳から「幻視」の症状を疑似体験しました。本人の気持ちや症状をより深く理解することで、やさしく接することや自分に何ができるのかを学ぶことができました。

最後には、お茶を飲みながらリラックスした気分でお互いに交流されました。



石見子育て広場

7月21日（木）、石見まちづくりセンターにて石見子育て広場、『七夕飾り』を開催しました。

笹は地域の方が当日の朝、採ってくれたもので、参加された方は思い思いの飾りつけと、願い事を書いた短冊をつけていました。

また、隣では（有）平野屋さんに講師で来てもらい、『抹茶アート』の体験をしました。最初に七夕の由来や抹茶の種類についての説明を聞きました。薄茶の上に濃茶で絵を描いていくのですが、一定方向に一度しかかけず、お子さん達は苦戦しながらも挑戦をしていました。

最後には、抹茶とお茶菓子を食べて、蒸し暑い日に涼しさを感じる事ができました。

先生のお手本をみんなで見学♪



初めての抹茶アート！挑戦中☆



ゆるくつながり、顔の見える関係づくり



赤い羽根共同募金助成事業

みすみっ子集まれ！開催

新型コロナ感染拡大の収束の兆しが見えない中、今もなお様々な地域行事等の中止や延期が余儀なくされ、子ども達が待ちに待った夏休みの楽しみや思い出を奪い、地域のつながりの希薄化にも多大な影響を与えています。

本会三隅支所と三隅地区民生児童委員協議会では、感染拡大防止の対策を行いながら“地域や人のつながりを維持しよう”と、8月6日（土）、三隅まちづくりセンターを会場に夏休みの恒例事業「みすみっ子集まれ！」を今年も開催しました。

最初に笑いあり、感動ありのマジックショーを觀賞し、その後、くじ引きやエコバッグスタンプ、ジュースと3つの出店を親子や友達同士で体験しながら、顔なじみの民生児童委員と交流を深めました。

この日集まったみすみっ子は50名。会場いっぱい元気溢れ、夏の暑さも何のそのといった様子で笑顔を交換していました。皆さんにとって、このイベントが夏休みの楽しい思い出の1ページとなったことと思います。



地元のマジシャン原田晴美さんのマジックショー！



ガラガラくじ引き体験中！何が当たるかな～♪



思い思いにスタンプ！自分だけのエコバッグを作りました。